



かみのせき 議会だより

2019
7/26

No.147



上関海峡に予期せぬイルカの訪問（7月4日）

令和元年 6 月定例議会

議案・質疑応答	2～3 ページ
一般質問（4 名が町の取り組みを問う）	3～5 ページ
意見書を提出	6 ページ
議会日誌	7 ページ
Pick UP・陳情・編集後記	8 ページ

議案

6月定例会は、6月11日から19日までの9日間で開かれた。専決した予算および条例の改正11件、令和元年度特別会計補正予算1件、条例の改正1件、工事請負契約の締結2件、報告3件が上程され、原案のとおり可決・承認された。

専決処分の承認

- ◆平成30年度一般会計補正予算
歳入歳出予算の総額に3億2046万6千円を増額し、総額を44億6745万5千円とする。
- ◆平成30年度上関町国民健康保険事業特別会計補正予算
歳入歳出予算の総額に936万5千円を増額し、総額を6億6921万9千円とする。
- ◆平成30年度上関町介護保険特別会計補正予算
保険事業勘定の歳入歳出予算

の総額から3732万8千円を減額し、総額を6億2857万7千円とする。

- ◆平成30年度上関町へき地診療所事業特別会計補正予算
歳入歳出予算の総額から330万円を減額し、総額を5606万8千円とする。

- ◆平成30年度上関町風力発電事業特別会計補正予算
歳入歳出予算の総額に440万6千円を増額し、総額を15億4501万9千円とする。

- ◆平成30年度上関町用地取得事業特別会計補正予算
歳入歳出予算の総額から3190万円を減額し、総額を1810万円とする。

- ◆上関町個人情報保護条例の一部改正

- ◆上関町税賦課徴収条例の一部改正

- ◆上関町国民健康保険税条例の一部改正

- ◆上関町介護保険条例の一部改正

- ◆上関町簡易水道の布設工事監

督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部改正

特別会計補正予算

- ◆令和元年度上関町国民健康保険事業特別会計補正予算
歳入歳出予算の総額に797万5千円を増額し、総額を6億2836万3千円とする。

条例の改正

- ◆上関海峡温泉設置及び管理に関する条例の一部改正

- ・料金の変更

工事請負契約の締結

●工事名

令和元年度上関（蒲井）漁港機能保全工事

- ・契約金額

5108万4千円

- ・契約の相手方

（株）イワキ

代表取締役 岩木 昇

●工事名

令和元年度室津浮棧橋設置工事

- ・契約金額

1億1066万円

- ・契約の相手方

（株）イワキ

代表取締役 岩木 昇

報告

○平成30年度上関町一般会計繰越明許費繰越計算書の報告

- ・新庁舎建設事業

- ・上関小中学校空調設備設置事業

事業

- ・農道三浦線災害復旧事業

○平成30年度上関町土地開発公社の決算及び業務等の報告

- ・用地の取得、売却なし

○第9期一般財団法人なごみの事業計画の報告

上関海峡温泉の第9期（令和元年度）は、レストランの直営化による魅力ある食事の提供と温泉との相乗効果を高め来館者の増加を図ります。

道の駅上関海峡の第6期（令和元年度）は町民に日常生活の一部として利用してもらうとともに、町外からも観光の目的地や町内観光の発着点として定期的に訪れてもらえるよう魅力ある施設を目指します。

質疑

応答

清水敏保議員

小中学校の空調設備設置事業のこれまでの経緯は。

山下教育次長

この事業については、平成30年度3月末までに小中学校ともに設計を済ますよう進めていたが、中学校については入札が二度不調に終わったため、それまでの入札金額の一番低い業者と随意契約をして3月末までの設計をしてもらった経緯がある。工事や管理については繰越をして今年度中に設置を完了したい。進捗状況については小学

校は7月31日の工期に間に合うように進んでいる。中学校については機材の調達が遅れているが、12月中には設置できる予定。

清水敏保議員

もうちょっとスピード感をもった対応をお願いしたい。

山下教育次長

全国的に空調設備を設置するところが多い事情もあるが、鋭意に進めていく。

清水敏保議員

室津浮棧橋設置工事について棧橋の場所は漁船などの出入りに問題はないか。

先浜土木建築課長

港湾の使用に邪魔にならないよう、ヨットの出入りのシミュレーションや、漁協との協議を経て棧橋の位置の設定をしている。

町政のことが聞きたい

一般質問



清水 敏保 議員

問 上関町の教育方針について

答 子供の教育を第一に考え進めたい

質問

次の4点を伺う。①山口県は地域教育力日本一に向けた取り組みを進めているが、今後の取り組みについて。②学校教育目標である郷土愛などの推進を取り組むのであれば、地域に学校が必要不可欠であると考えが。③祝島小学校の再開校に向けて準備が進んでいると思うが、いつ再開校するのか。④祝島には2年後に3人入学予定の子供がいるが、それまでに校舎などの建設ができるか。

教育長答弁

4点の質問に答える。①教育目標や目指す児童生徒像を設定して、小中一貫教育を推進しており義務教育9年間で取り組んでいく。②学校教育では郷土地域を広く捉え、ふるさとを基盤に豊かな心や生きる力を培っていききたい。③教育委員会で協議をしているが合意に至っていない。④子供の発達段階や集団の教育力、また財政の問題もある。子供の教育上よりよい方を第一に考え、教育委員会会議などの合意により進めたい。



上関町の教育に取り組む報告書



岩木 和美 議員

問 町長選挙について

答 出馬しない意向である

質問

町長選挙の日程が、9月3日公示、9月8日投開票と決定した。町長は、4期16年町政を担い数多くの実績を残された。常に「町民の暮らしを守ることを念頭におかれ、厳しい財政状況でも住民の暮らしを支援する事業は今年度も実施されている。私も大変評価している。町長は進退について「個人的にはやめたいが、現状を見極めたい」と周囲に伝え、各方面から続投の要請があったと聞いている。町長選挙に対する現在のお考えは。

町長答弁

仮に私が町長選挙に出て、皆さんから負託をいただき町長に選出された時、今の気力が4年間継続して保てるか私自身不安である。迷いがある者が町長選挙に出馬することは、町民に対し失礼だと思う。一方では、ありがたいことに私の支援者や各種団体から、続投を考えてくれないかとも言われている。私がこの職にあるのもそのような人たちのおかげで、私一人の問題ではないと思っている。しかし、私の気持ちに正直に沿うなら、次期町長選挙には、出馬しない意向である。



柏原町長



山根 善夫 議員

問 農業振興のために

答 農道と有害鳥獣被害に対応

質問

農業を営む人にとって、農道整備と獣害対策は大きな問題である。農道の路肩の傾き、ひび割れなども多く、昨年のような崩落災害が起きないか危惧している。災害を防ぐためにも、農道の点検や調査を行い整備できないものか。また、近年イノシシなどによる被害が拡大されている。新たな対策も必要になってきているのでは。今後の農業振興のために、農道整備や獣害対策をどのように考え、対応していくのか。



夏野菜を出荷する生産者

町長答弁

農道は、耕作地の面積が減少して、国や県の補助採択要件を満たしていない。町の単独事業となるため、大規模な整備は非常に厳しい。財政が厳しいなか維持補修を行い、長寿命化を図りたい。有害鳥獣対策は、農業者自身での対応、地域での共同による取り組み、町や県の支援とを分担していく必要がある。イノシシ対策としては、今のところ農作物や農地の防護と捕獲駆除以外に有効な手段がない。これらに粘り強く取り組む。



山戸 孝 議員

問 ふるさと納税の今後の方針は

答 国の基準を順守しながら取り組む

質問

ふるさと納税による寄附は用途の自由度も高く貴重な財源。今後も力を入れて取り組むべきだが様々な課題もあり、国の制度変更への対応も必要になる。返礼品やPRにおいて今年度はどのような対応・展開をしていくのか。リピーター確保のためにも寄附の使途や実績などを寄附者に詳細に伝える考えはないか。またプロジェクトチームを組む、運営そのものにも民間に関わってもらおうといった方向性は考えていないか。

町長答弁

国の基準を順守しながら、地域資源を生かした返礼品を開拓し、パンフレットの内容を見直してこれまで寄附していただいた方などへの郵送によるPRも引き続きしていく。寄附の使途については寄附時の指定があり、その先は詳細に公表していない。効果的であれば検討したい。プロジェクトチームを組むことは確かに効果的であるが、職員の人数や経費を考えると難しい。しかし、事業者や職員間の連携をこれまで以上に強化していく必要がある。



体験型返礼品の遊漁ツアーで大満足！

問 地域おこし協力隊について

答 人材不足の解消のために導入を

質問

地域おこし協力隊については、私見だが『地域特化型』と『事業特化型』の2つに分けられる。協力隊は地域への定住が目的であり、生活を成り立たせる仕事の確保が最優先。そのため最近では事業への取り組みに重きを置くケースが増えてきている。現在、八島に隊員1名が赴任している。今年度も新たに地域おこし協力隊を募集する予定であると聞いているが、新規に募集する隊員の活動方針は。またどのようなサポートをしているのか。

町長答弁

町における人材不足はかなり深刻化しているため『地域特化型』と『事業特化型』の両面から募集が必要。『事業特化型』であれば定住に移行しやすい。総合的な観光振興や買い物弱者の支援など、町が抱える問題の解決を目的とした協力隊の導入もできれば。複数の募集も考えており、必要であれば八島地区の再導入も検討したい。サポートについては、新しい協力隊員同士や新旧の協力隊員の交流が円滑に図れるようバックアップしていきたい。



山口県離島青年会議で
発言する八島の杉淵隊員

新たな過疎対策法の制定 に関する意見書を提出

昭和45年に「過疎地域対策緊急措置法」が制定されて以来、現在まで4回にわたり、議員立法の特別措置法として制定され、これにより総合的な過疎対策事業が実施され、生活環境の整備や産業の振興など成果を上げてきた。

全国1718ある市町村の中で、過疎の市町村は、約半分の817市町村が指定されている。当町もその中の一町である。過疎地域の人口は全国の約8.6%に過ぎないが、国土は約6割を占め、豊かな自然や歴史・文化を有し、食料・水・エネルギーを都市に供給、また国土・自然環境の保全・癒しの場の提供、森林による地球温暖化の防止などに多大に貢献。このような多面的・公益的機能は国民共有の財産であり、それは過疎地域の住

民によって支えられてきた。

しかし、過疎地域では、公共施設の整備水準などにおいて全国との差がなお存在するほか、財政状況は厳しく、著しい人口減少と高齢化の進行、第一次産業の衰退、生活交通の不足、地域医療の危機などの様ざまな問題に直面し、多くの集落が消滅の危機に瀕している。

こうしたことを踏まえ、現行法では、**※過疎対策事業債**はソフト事業へも活用可能にするなど、時代に対応した実効性ある対策を講じるための措置を行っている。

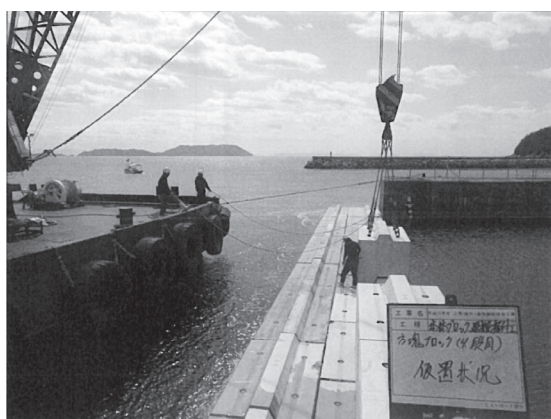
当町でも過疎対策事業債を活用し、今日までハード事業では漁港建設事業、町道新設・改良事業、観光施設整備事業などに充当するとともに、ソフト事業では、福祉優待バス事業、福祉団体への補助などに充当して、住民の皆様の暮らしを支えていく政策を推進している。

現行の過疎地域自立促進特別措置法は、時限立法であり令和

2年度で期限が到来するが、まだまだ公共施設の整備は道半ばで、そこに住み続ける住民にとって安全・安心に暮らせる地域として健全に維持するためにも、公共事業の根幹をなす過疎対策法の継続をお願いし、引き続き総合的な過疎対策を充実強化させる必要があるので、新たな過疎対策法の制定に関する意見書を提出する。

意見書提出先

衆議院議長	大島理森 殿
参議院議長	伊達忠一 殿
内閣総理大臣	安倍晋三 殿
総務大臣	石田真敏 殿
財務大臣	麻生太郎 殿
農林水産大臣	吉川貴盛 殿
国土交通大臣	石井啓一 殿



上関（蒲井）漁港機能保全工事

※過疎対策事業債

過疎対策事業債は、過疎地域自立促進特別措置法の規定により、公示された市町村が策定する計画に基づき実施する事業に対して発行が認められる特別債で、借入金の元利償還に要する経費の70%を地方交付税に算入され、返ってくる借入金。

議 会 日 誌

(自 平成 31 年 2 月 28 日 ～ 至 令和元年 6 月 4 日)

月	日	件 名	事 業 内 容	開 催 場 所
2	28	柳井地区広域消防組合議会定例会	定例会	柳井市
	28	上関町人権学習講座	研 修	総合文化センター
3	1	県立熊毛南高等学校卒業式	式 典	熊毛南高校
	6	第 1 回定例会本会議	議案提案理由の説明他	議場
	6	全員協議会	協議会	会議室
	9	上関中学校卒業式	式 典	上関中学校
	11	総務文教常任委員会	議案審査	会議室
	12	産業厚生常任委員会	議案審査	会議室
	14	第 1 回定例会本会議	一般質問	議場
	15	第 1 回定例会本会議	議 事	議場
	15	議会運営委員会	委員会	会議室
	20	上関小学校卒業式	式 典	上関小学校
	26	例月出納検査	出納検査	議員控室
	26	柳井地域広域水道企業団定例会	定例会	柳井市
	27	議会広報委員会	原稿整理	議員控室
4	3	室津地区戦没者慰霊祭	式 典	総合文化センター
	5	議会広報委員会	原稿整理	議員控室
	8	上関小学校入学式	式 典	上関小学校
	8	上関中学校入学式	式 典	上関中学校
	11	議会広報委員会	広報校正	議員控室
	18	議会広報委員会	広報校正	議員控室
	22	議会広報委員会	最終校正	議員控室
	24	熊毛郡町議会議長会定例会	定例会	田布施町役場
	26	例月出納検査	出納検査	議員控室
5	7	柳井地区広域市町議会議長会総会	総 会	柳井市
	13	春の全国交通安全運動街頭指導	街頭指導	上関・室津
	14	上関町連合婦人会総会	総 会	総合文化センター
	17	土地開発公社理事会	理事会	会議室
	20	上関町老人クラブ連合会総会	総 会	総合文化センター
	21	上関町国際交流教育事業運営委員会	海外派遣生徒の選考	総合文化センター
	23	熊毛郡体育協会役員総会	総 会	総合文化センター
	27	例月出納検査	出納検査	議員控室
	27	全国原子力発電所所在市町村協議会総会	総 会	東京都
	28	町村議長・副議長研修会	研修会	東京都
	29	町村議長・副議長研修会	研修会	東京都
6	4	議会運営委員会	委員会	会議室

Pick UP
中学生議会提案

「ビーチクリーン活動をし、海を綺麗にする」に対して解決策を実行に!!

7月5日、上関中の生徒が中ノ浦海水浴場の清掃をしました。2月の中学生議会で提案したことを生徒たちで解決しようと、観光協会の清掃日程に合わせ、地域の人たちと一緒に作業を行いました。砂浜に打ち上げられた海藻を運んだり、ゴミを分別する中学生の姿を頼もしく思いました。

ビフォー



散乱するゴミが……!Σ(x_x)!



アフター



すっかりきれいになりました(^-^)



一生懸命に作業する中学生

陳情

● 辺野古新基地建設の即時中止と、普天間基地の沖縄県外・国外移転について、国民的議論により、民主主義及び憲法に基づき公正に解決するべきとする意見書の採択を求める陳情

「新しい提案」実行委員会

安里 長従

全国青年司法書士協議会

会長 半田 久之

● 米軍普天間飛行場の辺野古移設を促進する意見書に関する陳情

宜野湾市民の安全な生活を守る会

会長 平安座 唯雄

● 日本政府に対して、国連の「沖縄県民は先住民族」勧告の撤回を求める意見書の採択を求める陳情書

一般社団法人日本沖縄政策研究フォーラム

理事長 仲村 覚

編集後記

ピックアップでも取り上げていますが、先日、観光協会が主催で毎年行っている中ノ浦の海岸清掃に、今年は初めて中学生の姿がありました。今年2月の中学生議会が契機となったことです。議会からも有志で参加したのですが、将来町を担っていくであろう中学生が自身で考え、協議し、実際に行動に移す姿を見て、たいへん頼もしく思いました。同時に、議会として、大人として、よりいっそう町のために汗をかいていかなければ、と強く感じた日となりました。

議会広報広聴調査特別委員会

委員長 岩木 和美
副委員長 海下竜一郎
委員 井原 久治
〃 右田千賀子
〃 山戸 孝

次回定例会の初日は
9月17日(火)9時の予定です。